

昭和52年度

千葉県芸術祭開会式  
市響オープニングコンサート

10月2日(日) 1時30分  
千葉県文化会館



主 催 千葉県・千葉県教育委員会・千葉市教育委員会  
千葉県芸術祭実行委員会・千葉交響楽団協会



## 千葉県芸術祭の開会にあたって

千葉県芸術祭実行委員長  
千葉県教育委員会教育長

今 井 正

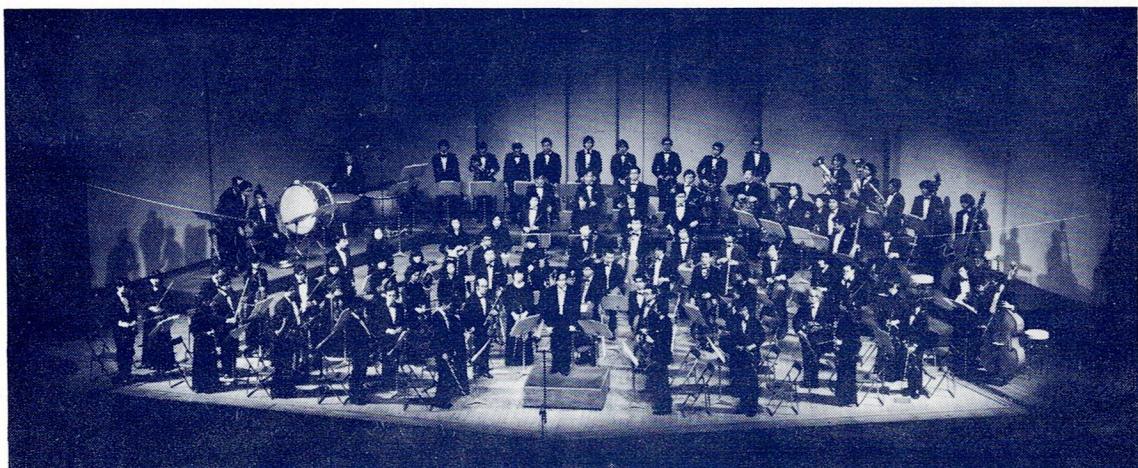
本日から12月初旬までの2ヵ月にわたり、県内各地を会場として、本年度の千葉県芸術祭を開催する運びになりましたことは誠に喜ばしい次第であります。

芸術祭は、県民の芸術文化活動の成果を発表し、相互の交流を図るとともに、優れた芸術文化を鑑賞する機会として、芸術文化各分野の行事を総合的かつ集中的に実施する県民の芸術文化の祭典であります。昭和44年度以来回を重ね、年々充実の一途をたどって参りまして、本年度は、音楽・演劇・舞踊・美術・文芸・茶華道などの各部門にわたり24行事を予定しておりますが、かねて関係者から強い御要望のありました開会行事を実施するほか、芸術祭スローガンの設定、作品の共同公募などの新しい企画をとり入れ、一層の改善充実を図りました。

本日開催いたします開会行事につきましては、開会式典のほか、オープニングコンサートとして市川交響楽団の演奏をお願いして芸術祭の開幕を飾っていただくことにいたしました。

近年、心の豊かなうるおいのある生活が求められ、県民の芸術文化に対する関心は著しい高まりをみせております。県教育委員会といたしましても、重点施策の一環として芸術文化の普及振興に努めているところですが、特に、各関係団体、各市町村の御協力のもとに、広く県民が参加する文化活動の実現をめざして努力して参りたいと思います。この芸術祭開催期間中、各市町村におきましても文化祭や芸術祭、その他多彩な文化行事が予定されておりますが、県芸術祭はこれら県民の文化活動の中心になる行事として、多くの県民に参加していただいて盛大かつ有意義な芸術の祭典にいたしたいと念願するものであります。

終わりに、芸術祭実行委員各位をはじめ、御協力いただきました各関係機関・団体関係者各位に心から感謝申し上げまして、芸術祭開会の御挨拶といたします。



## プログラム

演奏 市川交響楽団

指揮 金子建志

司会 小松礼子

### 開会式

前奏 R. ワグナー作品

歌劇「ニュールンベルグの名歌手」より

第1幕への前奏曲

主催者あいさつ

千葉県教育長 今井 正

来賓祝辞

千葉県知事 川上 紀一

千葉県会議長 八代重信

参加団体代表あいさつ

千葉県芸術文化団体協議会長

茂手木 幸忠

後奏 グノー作品

舞踊音楽「ファウスト」より

トロイの娘たちの踊り

~~~~~ 休 憇 ~~~~

### 記念演奏

マーラー作品

交響曲第1番「巨人」

ゆるやかに重々しく

力強く動いて 余り速くならぬよう

儀式のような莊重さと威厳をもって

けっして引きずるように緩慢にならぬように

嵐のようにはげしく揺れ動いて

閉会あいさつ

千葉交響楽団協会理事長

村上正治



## 紹介 金子建志

市響—金子建志。その結びつきは1972年に始まる。73年に常任指揮者。以後一貫して、市響は彼の棒のもとに成長していった。

我々が要求した一見無謀と思えるレパートリーも彼の努力と熱意でこなしてきた。彼あってのことである。ステージで振ることは勿論、練習場でのトレーナーとして、あくことなき音の探究者として、毎土曜日の夜、そこに彼の姿がある。オケの仲間達が何かの都合で出られなくとも一。出席率No.1 オケの皆さん恥ずかしくないか。と云うわけで、我々にとってまことに得難い人であります。この有難味を我々団員はふと忘れることも多々あると反省するわけです。彼との練習でのつきあいは楽しいものです。我々に絶対、強制はしない。じつと我慢の子、あるいはその間、彼自身の心の葛藤があるのかも、その証拠に時々、メガネの奥から強烈な皮肉をとばす。我々アマチュアのなんたるかをわきまえてくれています。秋にはマークの大作「巨人」。彼は練習で、何くわぬ顔で乱れぬ棒を振ってくれることでしょう。

宜しくね 建志さん。

余り知られていない番組ですが、NHK FM千葉で、毎週1回（主として第3土曜日）夕方5時から、クラシックリクエストと云う番組を担当しています。師匠（柴田南雄）ゆずりの博学（雑学？）はしばしば傾聴に値します。尚、他に、NHK FMの全国ネット20.05分からのクラシックアワーにも度々出演されています。本年1月に京都会館における京都交響楽団の一連の青少年コンサートに出演されタクトを振りました。千葉高から東京芸術大学楽理科卒。作曲を柴田南雄。指揮を齊藤秀雄の各氏に師事。現在尚美音楽院講師も務めています。住所は習志野市藤崎3-28-11。

## 市川交響楽団

この楽団は、千葉交響楽団協会に所属し、同じ趣旨で活動している市川交響楽団の中心的楽団である。団員数は百名で、昨年が創立25周年に当り、7月にカバレフスキイ「道化師」 ブラームスのバイオリン協奏曲、10月に安川加寿子氏とモーツアルトのピアノ協奏曲や、アマチュアでは難曲のブルックナーの第7交響曲を演奏し、その他県内を数箇所巡回演奏している奉仕団体である。姉妹楽団に市川混声合唱団や、市川交響吹奏楽団、市響ジュニアオーケストラがあるが、互いに助け合って演奏活動をつづけている。略称を市響「いちきょう」と言う。

団長 村上正治 相談役 村上信乃

幹事長 横田行雄

(運営幹事) 広報担当 牧野一男 企画担当 竹中靖 渉外担当 桑村益夫

会計担当 小坂克志 廉務担当 横田朝之 運営相談役 天野晶吉

(楽団幹事) インスペクター 星乘昭

常任指揮者 金子建志

コンサートマスター 二宮伸雄

技術アドバイサー 坂逸郎(名誉総括)・熊谷信昭(弦担当)・池田八十二

(管担当)

ライブラリアン 半藤嗣人・越塚康夫・高柳亘宏

ステージ楽器 永田豊・谷村匡一・高橋隆一

## 市川交響楽団協会

当協会は昭和26年7月に発会以来26年の歩みを続け、千葉県内に健全な純音樂の普及と啓蒙をはかり、クラシック音楽の愛好者層を増し、平和な潤いのある生活がみちあふれる事を願う文化団体で、然も音楽の中で最も強力に共鳴感を起させるシンフォニックな楽団の育成と、その演奏活動の実践を容易ならしめるための社会教育団体でありまして、利益を得る団体でも、ただ自分中心の、趣味だけを満足させるクラブでもありません。自分達の喜びを少しでも多くの人に分け与えようとする奉仕団体でありまして、同じ趣旨の千葉交響楽団協会の中心的存在であります。又、当協会には、市川交響楽団、市川混声合唱団、市川交響吹奏楽団、市響ジュニアオーケストラの4楽団によって組織されております。

会長 泰道照山

理事長 村上正治

理事 今井正・川崎千春・岸本義一・古賀米吉

渋谷寿光・鈴木忠兵衛・杉本郁太郎・村岡元一

監事 富田英夫・泰道三八

評議員 飯島藤十郎・大久保康雄 他23名

顧問 出光昭介・臼井莊一・片岡直令・坂斎梅三郎

友納武人・鳥海一郎・村岡信一・三木春逸 他23名

参考伊藤恒太郎・大木正興 他110名

事務局長 熊谷信昭 事務局次長 伊藤順夫

会計 横田朝之

# 市川交響楽団団員

コンサート・マスター

【第1ヴァイオリン】

|     |     |    |    |
|-----|-----|----|----|
| 石井  | 久和  | 美子 | 雄  |
| 小川  | 起恵  | 幸秀 | 祐  |
| 川林  | 尚俊  | 匡  | 子  |
| 島貫  | 伸康  | 雄  | 二  |
| 永二福 | 鶴千共 | 祐  | 人  |
| 星前  | 信明  | 子  | 太郎 |
| ○松  | 申康  | 二  | 郎  |
| 松三中 | 鶴千共 | 人  | 子  |
| 吉山  | 信明  | 太郎 | 彦  |
| 井出  | 勇   | 一  |    |
|     | 岡崎  | 道  |    |
|     | 井   | 辰  |    |

二 宮 伸 雄

|    |   |   |   |   |
|----|---|---|---|---|
| 鶴  | 島 | 章 | 子 | 子 |
| 藤  | 枝 | 通 | 昭 | 昭 |
| 星  |   | 乗 | 雄 | 彦 |
| ○横 | 田 | 行 | 彦 | 子 |
| 三長 | 浦 | 邦 | 英 |   |

【チ エ 口】

|    |   |   |   |   |
|----|---|---|---|---|
| 井  | 出 | 佐 | 久 | 夫 |
| 植  | 草 | 寛 | 助 | 豊 |
| 小  | 川 | 博 | 雄 | 人 |
| 野  | 呂 | 文 | 扶 |   |
| ○田 | 頭 |   | 健 |   |
| 中  | 沢 |   | 二 |   |
| 福  | 原 |   | 規 |   |
| 古  | 川 |   | 之 |   |
| 山  | 口 |   | 志 |   |
| 横  | 田 |   | 耕 |   |
| 小  | 坂 |   | 康 |   |

【第2ヴァイオリン】

|     |     |    |    |
|-----|-----|----|----|
| 上敷領 | 清秀  | 香弥 | 治郎 |
| 木佐貫 | 信梨  | 昭里 | 宏正 |
| 熊谷田 | 順浩  | 郎子 | 男乃 |
| 島高見 | 武祥  | 夫子 | 秋  |
| ○福村 | 葉多  | 子  |    |
| 深吉  | 津子  |    |    |
| ○福村 | 美千子 |    |    |

【ビ オ ラ】

|      |     |     |   |
|------|-----|-----|---|
| 飯島   | 一彦  | 彦   | 彦 |
| 大豆生田 | 稔   | 稔   | 彦 |
| 齊藤   | 十一郎 | 十一郎 | 健 |
| 荒沢   | 井淳  | 井淳  |   |
| 田    |     |     |   |

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| 杉 | 井 | 孝 | 則 |
| 北 | 里 | 孝 | 浩 |

【クラリネット】

|    |   |   |    |
|----|---|---|----|
| ○池 | 田 | 八 | 十二 |
| 伊  | 藤 | 順 | 夫  |
| 谷  | 村 | 国 | 一  |
|    | 田 |   | 雄  |
|    | 藤 |   | 豊  |
|    |   |   | 人  |

【ファゴット】

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
| ○田 | 金 | 坂 | 哲 |
| 中  | 森 | 本 | 一 |
| 福  | 米 | 原 | 夫 |
| 古  | 谷 | 口 | 直 |
| 山  |   |   |   |
| 横  |   |   |   |
| 小  |   |   |   |

【ホ ル】

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
| ○天 | ル | ン | 吉 |
| 小  | 天 | 野 | 生 |
| 越  | 小 | 川 | 雄 |
| 小  | 志 | 川 | 史 |
| ○牧 | 園 | 塚 | 史 |
| 村  | 高 | 林 | 之 |
| 藥  | 高 | 賀 | 夫 |

【コントラバス】

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
| 鈴  | 木 | 孝 | 治 |
| 鈴  | 木 | 達 | 郎 |
| 高  | 柳 | 亘 | 宏 |
| 飛  | 田 | 一 | 正 |
| ○牧 | 野 | 信 |   |
| 村  | 上 | 洋 |   |
| 藥  | 丸 |   |   |

【フルート】

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
| ○岡 | 木 | 恂 | 三 |
| 木  | 木 | 純 | 一 |
| 木  | 木 | 真 | 規 |
| ○竹 |   | 諭 | 靖 |

【オーボエ】

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
| ○高 | 山 | 孝 | 市 |
| 秦  | 公 | 夫 | 夫 |

|   |   |    |   |
|---|---|----|---|
| 千 | 前 | ま  | ま |
| 川 | 吉 | すみ | み |
| 松 |   | 和  | 弘 |
|   |   |    | 俊 |

【トロンボーン】

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
| ○太 | 田 | 之 | 一 |
| 小  | 池 | 達 | 美 |
| 柴  | 田 | 孝 | 一 |
| 菅  | 谷 | 泰 | 郎 |
| 津  | 田 | 雄 | 二 |

【テューバ】

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
| 高  | 橋 | 純 | 一 |
| ○岩 | 橋 | 樂 | 正 |
| 内  | 藤 | 器 | 弘 |
| 小  | 池 | 器 | 道 |
| 高  | 橋 | 橋 | 俊 |

【打 楽 器】

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
| ○岩 | 橋 | 利 | 治 |
| 内  | 藤 | 恵 | 之 |
| 小  | 池 | 子 | 男 |
| 高  | 橋 | 田 | 夫 |

【ハープ】

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| 一 | 川 | 利 | 子 |
| 早 | 俣 | 恵 | 惠 |
| 小 |   |   |   |

【ピアノ】

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| ア | ノ | 光 | 代 |
| 横 | 田 | 江 | 代 |

【名 誉 団 員】

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| 坂 | 江 | 逸 | 郎 |
| 江 | 似 | 朝 | 彦 |
| 似 | 早 | 健 | 彦 |
| 保 | 八 | 正 | 昭 |
| 八 |   |   | 洋 |

【団 友】

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| 裕 | 口 | 美 | 穂 |
| 裕 | 鳥 | 彦 | 子 |
| 裕 | 川 | 彦 | 子 |
| 裕 | 科 | 昭 | 子 |
| 裕 | 木 | 洋 | 子 |

○印 パートチーフ

県下ではじめての

## 教会式結婚式場

と豪華な大ホールを増設

政府登録ホテル 日本ホテル協会会員

千葉ニューアークホテル

千葉市千葉港7番3号 でんわ(0472)42-1111



# 曲 目 解 説

## 「ニュルンベルクの名歌手」前奏曲

R・ワーグナー

ワーグナーの歌劇は神話や伝説を素材とした悲劇がほとんどで、だいたい最後には主人公が死んでしまうとか、恋人が死んでしまうというあいになっているのですが、この歌劇は唯一の例外で、ハッピーエンドになっています。この「マイスタージンガー」という歌劇は中世の庶民の芸術家達の姿を借りてワーグナー自身の芸術観を表しているのですが、主人公のハンス・ザックスは実在の人物で（1494～1576）275の歌曲を作曲し、2000余りの詩を作った才能豊かな人物で、同じ様に自分で台本を作りそれに作曲をしたワーグナーがインスピライアされたのも当然と思われます。

「マイスタージンガー」と言うのは語呂がいいので「名歌手」と訳されていますが、中世ヨーロッパの手工業時代に「仕立屋」とか「毛皮屋」といった職業の親方であると同時に、今風に言えばシンガーソングライターとしても「名取り」的な名人でもあった人達の事で、この作品には「靴屋」の親方ザックス以下全部で12人のマイスタージンガーが登場します。（仮りに「名歌手」と訳すにしても正確には「名歌手達」という複数の意味となります。）

この12人の中に一人余り才能は無いくせに芸術上の規則だけを振りかざすベックメサーという書記が登場するのですが、愉快な事にワーグナーは、当時彼やブルックナーを目の敵にしていたハンスリックをもじってハンスリッヒという名前を最初に付けていたのだそうで、「ハンスリックは病気で温泉に治療を行った。しかし残念な事に全快して帰って来た。」というジョークが流行る程恐れられていた批評家も怪物ワーグナーにかかってはひとたまりもなかったとはおかしいではありませんか。

物語りは若い騎士ワルターが、愛する娘エヴァがマイスタージンガーの資格試験（つまり作詞作曲コンクール）の優勝者と結婚することになっていると知って、自分は歌や詩の規則を全く知らないのにもかかわらずこれに挑戦し、ザックスの助けによって見事優勝するというのですが、これはつまりベックメサー（ハンスリック）に代表される古い規則づくめの音楽に対する創造的な新しい芸術家（ワーグナー）の戦いと勝利を表しているわけです。

ところでこの曲自体は余りにも有名なので説明する必要は無いと思いますが、一言で言うと「バッハの対位法的な音楽の近代オーケストラによる復活」ということになるでしょう。

尚、この曲の終り方には3つのやり方があって1番多いのがドミソの和音を3回やって終る（フルトヴュングラー、クナッパーツブッシュ等）もの、5回やって終る（トスカニーニ、マタチッチ）もの、ティンパニーのトレモロを鳴らしながら5回やるのがあるのですが、今日は最後の方法で演奏します。

## 歌劇「ファウスト」のバレエ音楽より トロイの娘達の踊り

グノー

イタリア歌劇の前々回の来日公演での歌劇をお聴きの方もいらっしゃると思いますが歌劇そのものはそれ程ポピュラーな人気作というわけではありません。しかしこの曲の題名を知らない方でも曲を聴けば必ず「あれか」と思い当るはずです。最近までNHK・FMで1時から3時までのクラシックアワーのテーマ曲としてずっと使われていたのがこの曲です。

このバレエ音楽は「ワルブルギスの夜」にクレオパトラを始めとして次々と世界の美女達が現れては踊るシーンの音楽で、全曲の初演後パリでの再演の際に付け加えられたものです。全部で7曲あるうちの5番目がこの曲ですが今日は開会式とマーラーの間奏曲の様な感じでお楽しみください。

## 交響曲第1番「巨人」

G・マーラー

交響曲の歴史をながめて見ますと、ハイドン、モーツアルト、ベートーヴェンという古典派の流れ、それに続く、シューマン、メンデルスゾーン、ブラームスというロマン派、又、同じロマン派でも、シューベルト、ブルックナーという長大な交響曲群などがあるわけですがマーラーというのはそれらの誰

フルートのように纖細に  
ティンパニーのように逞しく……

The Quality Car

MARK II



★★★★★ カー ライフ の 家 口 ★★★★★  
千葉トヨペット

本社・千葉市船橋海岸4-5-1 ☎ 0472(41)1181・大代表 幸田

とも全く違って、あえて上げるとすればフランスのベルリオーズの幻想交響曲あたりに一番近親関係が見い出せると言つてもいいでしょう。

彼の交響曲はカンタータと歌曲と交響詩のミックスされたものと言つても良いのですが、重要な事は彼が20世紀に生きる我々と同じ様な人生観や悩みを持った人だと言う事でしょう。古典派からブルックナーまでの交響曲というのは多少の表現の濃淡はあるにしても結局の所全体の構成とか均衡を一番重視しているのですが、マーラーは調性的にも構成的にも全くユニークなものを持っておりちょうど絵画の世界が具象画から抽象画に移って行ったと同じ様な大きな変化を見せてています。

よくあるダリ風の絵で砂漠の空中にビルが浮かんでいてそばに巨大な花が咲きその上に裸婦が横たわっているといった様なそれまでの常識ではとてもいっしょにできない様な素材をまとめることによって異常に訴えかけるものを持っているのがありますが、マーラーの音楽というのも非常に訴える物が強い代わりに、アンバランスな面は否定できません。

この1番の交響曲はロマン派の作家ジャンパウルの「巨人」という小説に惹かれていたマーラー自身が標題を付けたのですが後にになって削ってしまったので今のスコアには何の題も付いていません。曲の内容はこれを作曲した当時(24~28才)の若いマーラー自身の姿を投影した様な、極めてナイーブで繊細な心を持ち、しかも情熱的な青年像を描いていると言えると思います。

〔第1楽章〕は弦のハーモニックスによる、朝の森の情景とも言うべき神秘的な音から始まります。この序奏の音楽はベートーヴェンの4番の序奏にヒントを得ていると思われますが、このテーマと、クラリネットとトランペットによるファンファーレ、それに木管によるカッコウの鳴き声という3つのテーマは非常に印象的でこの楽章を支配しているばかりでなく、第4楽章でも重要な役割を果たします。第1主題はカッコウの声から導き出された様にチエロが奏します。これは直ぐにトランペットに受け継がれより明確な形として確保されます。こうしたテーマを始めとしてマーラーの交響曲のテーマは比較的短いフレーズから成っているものが多く、ワーグナーの指導動機的なテーマを交響曲に用いたと言っても良いでしょう。又ホルンが活躍するのも彼の特徴の一つですが、この楽章の中でも先ず初めは森の奥からの大自然の響きとして2度目は勝ち誇った様なファンファーレとして重要な役割を演じます。

〔第2楽章〕はスケルッオですが、ベートーヴェンがスケルッオ楽章として取り入れたユーモアの感覚をマーラーは更に発展させてよりはっきりした笑いという形で表現しています。ことにホルンのゲシュトップ(朝顔に手首をつっ込んで出す奏法)の音は鳥獣戯画を想わせるバイタリティのあるしかもグロテスクな笑い声を感じさせます。中間部のトリオのレントラーはマーラーが紛れもなくウイーンの音楽家であるという事を示しています。

〔第3楽章〕は葬送行進曲で、ティンパニーを伴奏にコントラバスのソロで始まるという特異な効果の為に初演の時から話題となった楽章です。ベートーヴェンの3番やブルックナーの7番の第2楽章の英雄の死を悼む悲しみや崇高な感情を表現している音楽をこの楽章に期待すると途中ではぐらかされます。ちょうど厳かに進んでいる葬送の列にデキシーランドジャズのバンドが突然飛び込んで来た様な騒ぎが始まるのです。そしてそれが静まると葬送の列は何事も無かった様に遠ざかって行くのです。最も、テレビで悲しい劇を見ていて涙を流しているとCMで高見山が踊り出したのを見てゲラゲラ笑い、再びドラマに戻ると涙を流すといった事に馴れっこになっている我々にはさほどショックを与えませんが当時は賛否両論だった様です。以前どこかの葬式で3才ぐらいの女の子が何度も分からずお経の最中に「お婆ちゃんが死んだ!お婆ちゃんが死んだ!」と大声で楽しそうに歌い出したのです。子供の目には大勢の人が集まったのが何かお祭りの様に思えたのでしょう。もちろんその子は親にたしなめられ、お経は何事もなかった様に続けられて行きましたけれども、マーラーという人の心の奥には何かそうした奇妙に幼児的な所があり、ナイーブな面とアイロニックな面が奇妙なバランスを保っているのです。

第4楽章はこの曲の中で最も劇的な楽章でいかにも青年らしい嵐の様な情熱の奔流、敬虔な祈り、或いは挫折して傷付いた心などを、見事なオーケストレーションで描いて行きます。そして何度も何度も山を登ったあげくついに勝利がもたらされるのです。

マーラーの楽譜は猛烈に注意書きが多く、弱音器を着けたり外したりコル・レーニョ(弓の木の部分)で演奏したり、朝顔を上に向けると管楽器に指示したりとまるで歌劇の台本みたいなもので、演奏する側は非常に神経が疲れますが、その結果として生まれる多彩な響きは実に聴きごたえがあると思います。

1980年の創  
ニーセリカ  
新登場

New Specialty Car

**CELICA**

トータルエアロダイナミクスが  
セリカ力を変えた

ひと味手あついハートサービス

トヨタカローラ千葉

本社 千葉市幸町1-6-3 TEL 0472(41)9111

営業品目

- 新車…カローラ、セリカ、タウンエース
- 中古車…トヨタ統一保証済
- 整備…車検・一般整備・钣金
- 部品…レジャー用品・ミニサイクル
- 特機…G E冷蔵庫・エアコン

## —— 市響今年度の活動 ——

|            |                                                                                              |          |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| 4月1日（金）    | おはよう野球連盟開会式贊助                                                                                | 於市川市野球場  |
| 4月29日（金）   | 市川市美術展開会式贊助                                                                                  | 於市川市民会館  |
| 5月5日（木）    | 第118回市響「第2回ジュニアオーケストラ演奏会」<br>モーツアルト 喜遊曲 ニ長調<br>おどろき交響曲、旧友<br>チャイコフスキイ ロメオとジュリエット、その他         | 於市川市民会館  |
| 5月22日（日）   | 第119回市響「市川交響楽団コンサート」<br>リスト 前奏曲<br>メンデルスゾーン 交響曲3番<br>ラロー スペイン交響曲 ソロ 石井美穂子                    | 於市川市民会館  |
| 6月12日（日）   | 千葉県合唱祭参加                                                                                     | 於千葉県文化会館 |
| 6月19日（日）   | 県民コンサート「交響楽の集い」 1:30<br>未完成交響曲、日本のうた集<br>ラロー スペイン交響曲等 ソロ 石井美穂子                               | 於天津小     |
| 7月10日（日）   | 県民コンサート「交響楽の集い」 1:30<br>チャイコフスキイ 弦楽セレナーデ<br>他は6月19日と同じプログラム                                  | 於小見川中    |
| 7月24日（日）   | 第2回日本アマチュアオーケストラ<br>関東甲信越クリニック参加                                                             | 於市川市民会館  |
| 8月7日（日）    | 第120回市響「納涼コンサート」 2:00<br>ファリア 恋は魔術師より<br>バッハ パッサカリアとフーガ<br>リムスキー・コルサコフ スペイン奇想曲、その他           | 於市川市民会館  |
| 10月2日（日）   | 千葉県芸術祭開会式演奏 1:30                                                                             | 於千葉県文化会館 |
| 11月6日（日）   | 第122回市響「合唱の集い」 6:30<br>市川混声合唱団、国府台女声合唱団、千葉商大男声合唱団、市川児童合唱団出演                                  | 於市川市民会館  |
| 11月12日（土）  | 笠原音楽教室贊助出演                                                                                   | 於労音会館    |
| 11月19日・20日 | 第5回全国アマチュアオーケストラ・フェスティバル<br>佐世保大会参加<br>団 伊玖磨 西海讃歌<br>ベートーヴェン 第9交響曲                           | 於佐世保市民会館 |
| 11月26日（土）  | 第4回全日本アマチュア青少年文化祭<br>オーケストラ部代表演奏                                                             | 於日生劇場    |
| 12月4日（日）   | 第123回市響「ファミリー交響楽コンサート」 2:00<br>指揮 金子建志<br>楽しいクリスマスの音楽メドレー（福田 陽編曲）<br>チャイコフスキイ 組曲「くるみ割り人形」その他 | 於市川市民会館  |
| 1月15日（日）   | 市川市成人式贊助                                                                                     |          |
| 2月中・下旬 2回  | 市民のための音楽講座担当                                                                                 | 於市川市社教会館 |
| 3月5日（日）    | 県民コンサート「交響楽の集い」 1:30                                                                         | 於成東中     |
| 3月12日（日）   | 市民のための音楽講座担当                                                                                 | 於市川市社教会館 |
| 3月19日（日）   | 第124回市響「室内楽の夕」 6:30<br>マルチエロ オーボエ協奏曲 ソロ 坂 逸郎<br>バッハ 組曲第2番 ソロ 木村真諭記<br>その他                    | 於市川市民会館  |